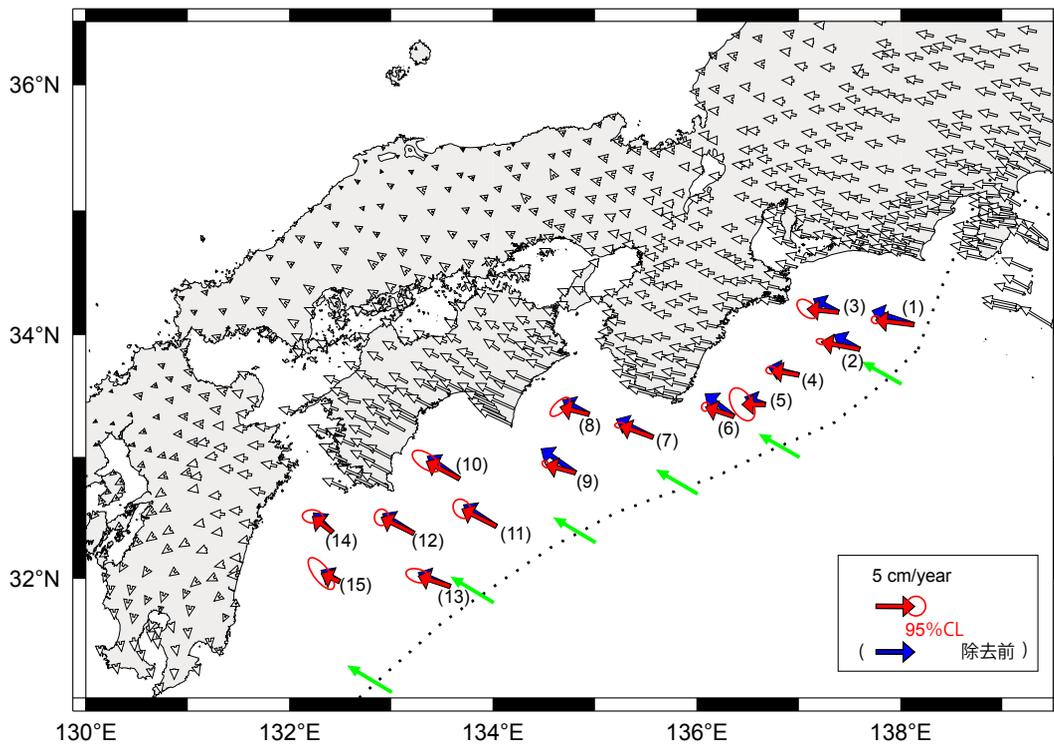


南海トラフ沿いの海底地殻変動観測結果 (東北地方太平洋沖地震の影響を除去)

海上保安庁では、南海トラフ巨大地震の想定震源域近傍での固着状態ならびに地殻変動を把握するため、南海トラフ沿いにおいて、海底地殻変動観測を実施している。ここでは、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による影響を取り除いた観測結果を示す。

西南日本の年平均変位【アムールプレート固定】



観測点	(1) TOK1	(2) TOK2	(3) TOK3	(4) KUM1	(5) KUM2	(6) KUM3	(7) SIOW
速度 (cm/year)	5.0	5.1	4.1	3.7	3.0	3.9	4.6
角度	N277.3°E	N281.1°E	N275.8°E	N279.8°E	N270.3°E	N288.7°E	N289.8°E

(8) MRT1	(9) MRT2	(10) TOS1	(11) TOS2	(12) ASZ1	(13) ASZ2	(14) HYG1	(15) HYG2
3.9	4.0	4.9	5.0	4.7	4.4	3.3	2.6
N284.2°E	N285.6°E	N297.8°E	N296.9°E	N296.2°E	N288.2°E	N308.3°E	N293.4°E

- KGPS 解析には国土地理院から提供していただいた電子基準点 1 秒データ及び F3 解を使用している。
- 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は、Iinuma et al. (2012, JGR) 及び Sun and Wang (2015, JGR) のモデルによる結果を用いて補正した。
- 陸上の移動速度は国土地理院 GEONET の 2006 年 3 月～2011 年 2 月（東北地方太平洋沖地震前）までの F3 解を線形回帰したものである。
- 緑色矢印は MORVEL モデルによるフィリピン海プレートのアムールプレートへの沈み込み速度である。